

阪神・石井投手 プロ新記録

努力の虫、大智へご褒美



プロ野球阪神の石井大智
投手(28)は秋田市出身で、8月17日、東京ドームで行われた巨人戦で40試合連続無失点のプロ野球新記録を樹立した。秋田高専時代に外部指導者として成長を見守った加藤秀夫さん(71)は「人の何十倍も努力できる選手。彼自身の努力が実ったことでもあるが、努力を重ねる大智に①がくられたご褒美なのかもしれない」とたたえた。

高専3年生でエースとしてチームをけん引したが、甲子園出場を懸けた夏の秋田大会は2回戦敗退。その後も②を手伝いながら、自らを追い込んだ。「グラウンドの端でずっと走っていた。こちらが止めようとしても『大丈夫ですか

ら』と続けた。あれほど自分で練習に打ち込める人間だからこそ、厳しい③で結果を残しているのだろう」と懐かしんだ。

9日のヤクルト戦で2006年に藤川球児・現阪神監督がつくったセ・リーグ記録に並び、13日の広島戦で更新。21年の平良海馬投手(西武)のプロ野球記録に並ぶと、17日に塗り替えてみせた。6月のオリックス戦で活躍してほしい」とエールを送った。

ス戦で頭部に打球が直撃し、離脱した時期があったが、今季は43試合の登板でわずか1失点。防御率0・21と圧倒的な数字を残している。

④であることをよく知っているからこそ、むちやをせず、息の長い投手になつてほしいと願っている。「大智の活躍は秋田で野球に打ち込む子どもたちの希望になつていて。ここがピーコではないはずだが、結果よりも1年でも長く第一線で活躍してほしい」と

名前
年組

※【樹立】今までになかったことを、しっかりと打ち立てること。

※【高専】「高等専門学校」

の略。中学校卒業後、技術などの専門的な教育を行う学校。通常期間は5年間。

※【更新】これまでのものを、新しいものに変えること。または変わること。

△秋田魁新報2025年

8月18日付より。記事は手直ししています

①記事の中の①～④の□部分に当てはまる言葉を、それぞれ次のア～オから選び、記号を書きましょう。

ア プロの世界
エ 野球の神様

イ 後輩の練習
オ 努力の虫

① ② ③ ④

②傍線部の「1年でも長く第一線で活躍してほしい」と同じ意味で使っている表現を、次の□に合うように記事から6字でぬき出しましょう。

<input type="text"/>					
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

になってほしい

③記事を読んだ5年生の子どもたちが、感想を話し合いました。誤った感想を述べているのはだれですか。

あかりさん

「秋田市出身の現役選手で、プロ野球の新記録をつくったピッチャーがいるなんて初めて知りました。今度テレビで見てみたいです」

たかしさん

「加藤さんの『努力を重ねる大智にご褒美』という言葉がステキだなと思いました。努力が実を結ぶというのは、すばらしいことです」

けいこさん

「6月のオリックス戦で、頭部に打球が直撃してから圧倒的な数字を残していることが分かりました。けがに負けない強い選手です」

りょうさん

「高校生のときに甲子園出場はできなくても、夢をあきらめずにプロになり活躍する石井投手に、何か希望をもらったような気がします」

<input type="text"/>
